

# 履修チェックリスト 別表

履修チェックリストの到達目標(SBOs)に関連する項目として、履修すべき項目を中項目として表に例示した(中項目がないSBOsもある)。(斜字体の文字は、各中項目に関連した小項目)

## A. 補綴歯科診療に必要な基本的知識

GIO: 患者に専門的な歯科診療を提供するために、補綴歯科診療に必要な基本的知識を修する

SBOs:

1. 顎口腔系の構造を説明する
2. 顎口腔系の機能を説明する
3. 咬合・下顎運動を説明する
4. 歯, 歯肉および顔貌の審美について説明する
5. 顎口腔系の加齢変化を説明する

SBOs	中項目
1	骨・軟骨
	歯・歯列
	軟組織 <i>硬口蓋・軟口蓋・口唇・舌・頬粘膜</i>
	咀嚼筋と関連筋
	神経系
	脈管系
	顎関節 <i>下顎窩, 下顎頭, 関節隆起, 関節腔, 関節円板, 円板後部組織, 関節包, 滑膜・滑液</i>
	靭帯
	唾液腺

SBOs	中項目
2	神経筋機構
	咀嚼 <i>咀嚼運動経路, 咀嚼周期, 咀嚼能力, 習慣性咀嚼側</i>
	開閉口
	嚥下 <i>プロセスモデル</i>
	構音
	唾液の働き
	脳機能との関連

SBOs	中項目
3	顎運動 <i>切歯点運動経路, 下顎頭運動経路</i>
	下顎位
	咬合接触
	咬合力
	咬合様式

SBOs	中項目
4	外形と基準線
	比率と形態
	対称性と多様性
	色調

SBOs	中項目
5	頭蓋, 顎顔面
	顎関節
	唾液腺
	歯・歯列と咬合
	機能
	モデリング, リモデリング

# A. 補綴歯科診療に必要な基本的知識

GIO: 患者に専門的な歯科診療を提供するために、補綴歯科診療に必要な基本的知識を修する

SBOs:

6. 歯質・歯列欠損による障害の病因と病態を説明する
7. 顎顔面欠損による障害の病因と病態を説明する
8. 顎関節症の病因と病態を説明する
9. 摂食・嚥下障害の病因と病態を説明する
10. 身体的社会的要因を説明する

SBOs	中項目
6	<p>歯質・歯列欠損の原因 齲蝕, 歯周病, 外傷, 咬耗症と摩耗症, 侵蝕症, 形成不全</p> <p>欠損の分類 部位別分類, 位置的分類(ケネディーの分類), 咬合支持域による分類(アイヒナーの分類), 宮地の咬合三角</p> <p>歯列の変化 歯列の連続性の喪失, 咬合接触の喪失, 歯の傾斜, 挺出, 咬合支持様式の変化</p> <p>顎堤の変化</p> <p>顔貌の変化</p> <p>感覚の変化 歯髄感覚の喪失, 歯根膜感覚の喪失</p> <p>咬合障害 咬合干渉, 外傷性咬合</p> <p>咀嚼障害</p> <p>嚥下障害, 構音障害, 歯周組織への影響, 顎関節への影響</p>

SBOs	中項目
7	<p>上顎骨欠損による障害</p> <p>下顎骨欠損による障害</p> <p>舌欠損による障害</p> <p>顔面欠損による障害</p> <p>放射線・化学療法後の障害</p>

SBOs	中項目
8	<p>習癖 ブラキシズム, 習癖・異常運動, 姿勢</p> <p>疼痛 疼痛の発生メカニズム, 疼痛の伝導路・伝達物質, 疼痛の抑制系, 慢性疼痛, 侵害受容性疼痛, 神経因性疼痛, 心因性疼痛, 関連痛</p> <p>心身医学・精神医学的な原因 心身症, 精神疾患・精神障害, 不眠症, 自律神経失調症, 更年期障害, 不定愁訴, 口腔異常感症(咬合異常感等)</p> <p>顎関節症の病態 顎関節症, 咀嚼筋障害, 関節包・靭帯障害, 関節円板障害, 変形性関節症</p> <p>疫学的特徴 患者数, 年齢分布, 性差, 自然経過</p> <p>発症メカニズムと症候, 継発する病態 寄与因子, 顎関節痛, 関節雑音, 開口障害, 顎運動異常, 咀嚼筋痛, 顎関節退行性変化, 咬合異常</p>

SBOs	中項目
9	<p>発症に関わる全身的因子 脳血管障害, 仮性球麻痺, 球麻痺, 脊髄小脳変性症</p> <p>発症に関わる口腔領域因子</p> <p>器質性摂食・嚥下障害</p> <p>機能性摂食・嚥下障害</p> <p>加齢による摂食・嚥下機能の低下</p>

SBOs	中項目
10	<p>年齢と身体的機能</p> <p>年齢と身体的感覚</p> <p>年齢と社会的特徴</p> <p>高齢者の社会的特徴</p> <p>高齢者の身体感覚</p> <p>性別による特徴</p> <p>年齢と身体的機能</p>

## A. 補綴歯科診療に必要な基本的知識

GIO: 患者に専門的な歯科診療を提供するために、補綴歯科診療に必要な基本的知識を修する

SBOs:

11. 精神心理学的要因を説明する.

12. 必要な機器・材料について説明する

SBOs	中項目
11	歯と心理
	口腔機能とストレス
	顔貌・歯の審美とストレス
	顎機能とストレス
	心身症
	精神疾患

SBOs	中項目
12	検査機器・材料 <i>顎機能検査機器, 検査用材料</i>
	印象採得用器具・材料
	咬合採得用器具・材料 <i>フェイスボウ, ゴシックアーチトレーサー</i>
	咬合器 <i>平均値咬合器, 半調節性咬合器, 全調節性咬合器, 特殊な咬合器</i>
	義歯用材料 <i>床用レジン, 床用金属, 人工歯</i>
	クラウンブリッジ用材料 <i>金属材料, 前装用材料, 合着用材料</i>
	インプラント用材料
	生体親和性材料
	技工用機器・材料

## B. 補綴歯科診療の診断, 治療に必要な診察, 検査

GIO: 適切な診療計画を立案するために, 必要な診察, 検査を選択し, 実施する

SBOs:

1. 医療面接を行う
2. 頭頸部の診察を行う
3. 口腔内の診察を行う
4. 模型による検査を行う
5. 必要な顎口腔機能検査を行う
6. 必要な画像検査を指示する
7. 必要な血液検査を指示する
8. 必要なアレルギー検査を指示する
9. 補綴歯科治療に必要な診察・検査からプロブレムリストを作成する

SBOs	中項目
1	主訴
	現病歴
	既往歴
	家族歴
	生活歴
	社会・心理的状況
	生活習慣, 習癖

SBOs	中項目
2	顎関節 圧痛, 誘発痛, 雑音の診察(触診, 聴診), 下顎頭の可動性
	咀嚼筋 圧痛, 誘発痛, 関連痛, トリガーポイント
	顎運動 最大開口域, エンドフィール, 偏心運動量, 下顎運動経路
	その他 頭蓋, 顔面, 頸部, 姿勢

SBOs	中項目
3	歯, 歯槽骨 疼痛, 咬耗, 動揺度, 歯周ポケット, 楔状欠損, 骨隆起
	歯列, 咬合接触, 下顎位
	口腔軟組織 舌・頬粘膜の歯圧痕, 発赤, 腫脹

SBOs	中項目
4	研究用模型検査 研究用模型, 概形印象, 残存歯数, 欠損状態, 歯冠形態, 植立状態, 排列状態, 咬耗, 歯列弓, 欠損部顎堤, フェイスボウトランスファー, チェックバイト, 調節性咬合器, 咬合接触状態, 被蓋, 咬合平面
	咬合器上での研究用模型検査 咬合接触, 被蓋, 咬合平面

SBOs	中項目
9	Patient-oriented medical record

SBOs	中項目
5	咬合接触検査
	咬合様式の検査 咬合様式, 誘導様式
	咀嚼機能検査 主観的・客観的
	下顎運動検査
	筋機能検査
	構音機能検査 パトグラム, 語音明瞭度, 調音点
	嚥下機能検査 反復唾液飲みテスト, 改訂水飲みテスト

SBOs	中項目
6	デンタルエックス線写真
	パノラマエックス線写真
	顎関節単純撮影エックス線写真
	コンピュータ断層撮影法
	磁気共鳴撮像法(MRI)
	エックス線透視画像(VF) 嚥下造影, 唾液腺造影
	内視鏡画像(VE)
	その他 超音波画像

## C.補綴歯科診療の診断

GIO: 患者個々の状態に対応した補綴歯科診療を行うために, 検査結果を基に治療計画を立案する

SBOs:

1. 歯質欠損患者の難易度\*<sup>1)</sup>を評価する
2. 部分歯列欠損患者の難易度\*<sup>1)</sup>を評価する
3. 無歯顎患者の難易度\*<sup>1)</sup>を評価する
4. 顎関節症の鑑別診断を行う
5. 顎顔面欠損患者の難易度を評価する

(\*<sup>1)</sup>「歯の欠損の補綴」ガイドライン(Minds掲載, 日本補綴歯科学会編, 2008)の症型分類に準ずる)

SBOs	中項目
1	歯髓の有無
	残存歯質
	歯列不正・位置異常
	齲蝕罹患傾向
	歯周疾患

SBOs	中項目
2	部位別分類
	位置的分類
	咬合支持域
	症型分類 口腔の条件, 身体社会的条件, 口腔関連QOL, 精神医的条件

SBOs	中項目
3	無歯顎堤の分類 顎堤弓の形態, 顎堤吸収程度
	顎間関係の分類 上顎前突, 下顎前突, 顎堤の平行性および対向関係
	パーソナリティーの分類
	症型分類 口腔の条件, 身体社会的条件, 口腔関連QOL, 精神医的条件

SBOs	中項目
5	上顎欠損の分類 HS分類
	下顎欠損の分類
	舌欠損の分類
	顔面欠損の分類 FC分類

SBOs	中項目
4	咀嚼筋障害(顎関節症 I 型)
	関節包・靭帯障害(顎関節症 II 型)
	関節円板障害(復位を伴うもの)(顎関節症 III a型)
	関節円板障害(復位を伴わないもの)(顎関節症 III b型)
	変形性関節症(顎関節症 IV 型)
	I ~ IV 型に該当しないもの(顎関節症 V 型)
	発育異常 下顎関節突起欠損, 下顎関節突起発育不全, 下顎関節突起肥大, 先天性二重下顎頭
	外傷 顎関節脱臼, 骨折(関節突起, 下顎窩), 捻挫(顎関節部)
	炎症 化膿性顎関節炎, 関節リウマチおよび関連疾患, 外傷性顎関節炎
	退行性関節疾患あるいは変形性関節症
	腫瘍および腫瘍類似疾患

## C.補綴歯科診療の診断

GIO: 患者個々の状態に対応した補綴歯科診療を行うために、検査結果を基に治療計画を立案する

SBOs:

6. 摂食・嚥下障害の程度を評価する
7. 必要な前処置を選択する
8. 適切な補綴治療方法を選択する
9. 適切な補綴治療計画を立案する
10. インフォームド・コンセントを実施する
11. 医療連携を行う

SBOs	中項目
6	摂食・嚥下能力のグレード(藤島)

SBOs	中項目
7	予防的前処置 <i>TBI</i>
	外科的前処置 <i>抜歯, 骨形成, ティッシュマネージメント</i>
	保存的前処置 <i>歯冠修復, 充填処置, 歯周病処置</i>
	矯正的前処置 <i>MTM</i>
	補綴的前処置 <i>粘膜調整, レストシート形成, ガイドプレーン形成, リカウンツアリング</i>

## D. 補綴歯科診療の治療・管理

GIO: 患者のQOL向上・維持のために、治療計画に基づいた補綴歯科診療を実践し、口腔機能の管理を行う

SBOs:

1. クラウンブリッジによる治療を行う
2. 部分床義歯による治療を行う
3. 全部床義歯による治療を行う
4. 口腔外科, 歯周病, 口腔インプラント専門医と連携し, 口腔インプラント治療を行う
5. 多職種と連携し, 顎顔面補綴装置による治療を行う
6. 装着した補綴装置および口腔機能の管理を行う
7. 顎関節症の治療および管理を行う
8. 多職種と連携し, 摂食・嚥下障害に対する治療および管理を行う.
9. 治療の評価を行う

SBOs	中項目
1	プロビジョナルレストレーション
	部分・全部被覆冠
	審美修復 陶材焼付冠
	メタルフリーレストレーション オールセラミックスクラウン, ハイブリッド型コンポジットレジンクラウン, ラミネートベニア
	接着ブリッジ
	CAD/CAM

SBOs	中項目
3	レジン床義歯
	金属床義歯
	軟質リライン義歯
SBOs	中項目
4	固定性 多数歯欠損, 少数歯欠損
	可撤性 インプラント体支持, インプラント体・粘膜支持

SBOs	中項目
5	顎義歯 印象, 咬合採得, 装着, 調整, 経過観察
	義顎
	エピテーゼ
	舌口底欠損補綴
	放射線治療補助装置
	外科治療補助装置
	言語治療補助装置
	機能訓練・誘導装置

SBOs	中項目
2	レジン床義歯
	金属床義歯
	オーバーデンチャー
	アタッチメント義歯 歯冠内, 歯冠外, バー, マグネットアタッチメント, 自家製アタッチメント

SBOs	中項目
8	装置を用いた治療 PAP, PLP, 嚥下補助床
	摂食・嚥下訓練 間接訓練, 直接訓練
	摂食・栄養状態の管理

SBOs	中項目
9	主観的評価・客観的評価

SBOs	中項目
7	理学療法 物理療法, 運動療法
	薬物療法 消炎鎮痛薬, 鎮痙薬, 抗不安薬・抗うつ薬
	スプリント治療 スタビライゼーションスプリント
	咬合治療

## E. 医療倫理, 感染予防対策, 個人情報保護

GIO: 患者に安心して安全な歯科医療を提供するために, 医療安全, 医療倫理, 感染予防対策, 個人情報保護に配慮した診療を実施する

SBOs:

1. 医療安全に配慮する
2. 医療倫理を実践する
3. 診療室の感染予防対策を行う
4. 個人情報保護に配慮する
5. 関連法規を説明する

## F. EBMの必要性と生涯学習の習慣

GIO: ①高度でかつ適切な歯科医療を提供するために, EBMの必要性を理解する. 医療安全に配慮する

SBOs:

1. EBMの重要性を説明する
2. EBMの根拠資料を検索する
3. EBMを実践する

GIO: ②自己研鑽を積むために, 生涯学習の習慣を身につける

SBOs:

1. 学術大会, 教育研修会等に参加する.
2. 学会発表を行う
3. 症例報告を行う
4. 学術論文を作成する